

評価項目	評価指標	具体的方策	評価基準				中間評価			
			4	3	2	1	評価	成果○と課題▲	改善策	
確かな学力の育成	各種学力調査で全国平均値を超えることができる。 3年：全国学力学習状況調査 1年,2年：CRT【国社数理英】	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員で本校の課題を共有化し、個に寄り添った学習支援をするために、「学習定着週間」や長期休業中の補充学習を行う。</li> <li>国・数・英3教科の家庭学習ノートの取組を行い、授業で学んだことを繰り返し学習させたり、振り返りを行わせたりしていく。</li> <li>各種テストにおいて、生徒実態を把握し、PDCAを行い授業改善につなげる。</li> </ul>	全国平均を上回る教科の割合	80%以上	60%以上	40%以上	40%以下	4	※1・2年生の標準学力調査は12月実施予定 ※全国学力・学習状況調査の結果 各教科の平均正答率 国語78% (+8) 数学53% (+4) 英語44% (+1) ○今年度実施された国語・数学・英語の3教科とも全国平均を上回ることができた。 ○無解答率の全ての教科において全国平均よりも低く、難問に対しても粘り強くあきらめずに取り組む姿勢がついてきている。 国語1.8 (▼2.8) 数学5.5 (▼4.4) 理科3.0 (▼2.6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、家庭学習ノートとHR学習と授業がリンクした取組を継続していく。</li> <li>昨年度の標準学力テストの結果分析をもとに授業改善を行っていく。</li> <li>昨年度より行っている定期テストのレベルアップの徹底をはかり、今求められている学力の定着をはかる。</li> </ul>
豊かな心の育成	生徒の自尊感情を高める肯定的な回答を全校で80%以上にする (QUアンケート「みんなのためになることを自分で見つけ実行している」項目)	○あらゆる教育活動において、生徒がポジティブに自己を捉えるよう、タイミングの良い肯定的評価を学校、保護者、地域が一体となって行う。 ○体験活動の意義を説明し、生徒に意欲を持たせる。	第2回QUアンケートの肯定的回答の割合	80%以上	70%~79%	60%~69%	60%未満	2	※今年度よりQUアンケートに変えて、iチェックを使用しており、同様の質問項目に対する肯定的評価の割合 1年・・・68.8% 2年・・・69.5% 3年・・・70.1% ○コロナ禍が明け、中止していた体験活動を段階的に再開してきている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>再開した様々な体験活動の後の生徒たちからの情報発信に力を入れる。</li> <li>委員会活動の取組を校内外へ広く発信し、委員会活動の有用性や達成感を生徒に実感させる。</li> </ul>
健やかな体	体力テストで、体力項目の70%以上、全国・県平均を上回る	○各自目標値を持って取り組ませる。 ○弱点補強を授業とリンクさせる。	全国・県平均を上回った項目の割合	70%以上	60%~69%	50%~59%	50%未満	-	※今年度の調査結果が公表されていないため、全国・県平均との比較はまだできていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育の授業においては、毎時補強運動を設定し、基礎体力の向上に努める。</li> <li>体育理論の学習を、学習プリントを工夫することで、効率よく行い、できるだけ運動時間を確保できるようにする。</li> </ul>
信頼される学校	保護者アンケート項目「子どもの学校の現状について」の満足度が昨年度を上回る。	○HPや学校だより等で、学校の取組や、やりきる生徒、関わりきる教職員の姿など、前向きな姿を発信する。 ○学校行事や日々の活動について生徒目線での記事を盛り込んだ親しみやすいホームページを20回以上更新する。	①保護者アンケートの結果 (肯定的回答) の割合	すべての学年が昨年度以上	一部の学年が昨年度以上、どの学年も昨年度未満はなし	昨年度と同じ	昨年度を上回ることができない	-	※保護者アンケートは12月に実施予定。 ○HPの記事は、9月末の時点で17回記事を更新した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりやHPでの情報発信はもとより、とにかく地域・保護者の方に学校に来校していただき、関わりきる教職員の姿や頑張っている生徒の姿を生で見てもらえるようにする。(文化祭・学校へ行こう週間など)</li> </ul>
	教職員アンケート項目「生徒と向き合う時間が確保できている」の割合を80%以上にする。	○今年度、組織の見直しを行い、業務の効率化をめざす。 ○週1回の定時退庁日を設ける。	教職員アンケートの肯定的回答の割合	80%以上	79%~60%	59%~50%	50%未満	-	※教職員アンケートは、12月に実施予定。 ○時間外勤務の時間は昨年度時期と比較して、平均1時間程度減ってきている。(月平均 昨年38.5時間 → 今年度37.5時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>これから冬期に入り、生徒の下校時間が早くなるので、部活指導終了後の時間を有効に活用し、早期退校ができるようにしていく。</li> </ul>